

# ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト

平成31年度予算額 **5.8億円** (5.7億円)

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 汎用的な作業・工程に使える小型汎用ロボット（プラットフォームロボット）の導入コストの2割削減に向け、ロボットの本体価格やシステムインテグレーションコストを引き下げるべく、ソフトウェアの共通化等を行います。
- 開発されたソフトウェア等の品質維持・向上を継続的に進めていくための体制構築を実施します。

### 成果目標

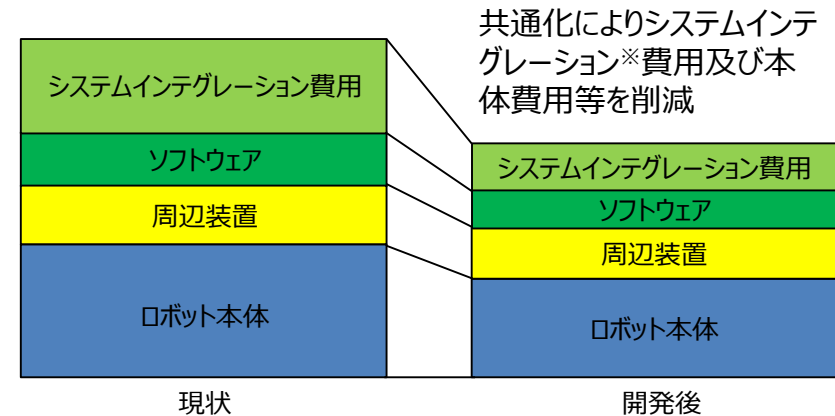
- 平成27年度から平成31年度までの5年間の本事業を経て、平成31年度までに、上市可能なレベルのロボットを25種類以上開発することを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### プラットフォームロボット



- 汎用的な用途に活用できるロボットをプラットフォーム化（ソフトウェアの機能要素を共通化）することで、ロボットシステムの構築を容易にし、システムインテグレーション費用を低減、ひいてはロボットの初期導入コストの削減に繋げる。
- ロボットのシステムインテグレーションの担い手やユーザが、プログラミング言語やメーカー固有のインターフェースを意識せず、ロボット制御やアプリケーション構築を容易にするためのソフトウェア基盤の開発も行う。

（※多種多様なロボットや周辺装置を組み合わせ、最適な自動化システムを構築すること。）